公式記録

競技責任者	主審
平坂　密重	岡田　要

第3回　リンガーハットカップU-12長崎県ジュニアサッカー大会

日時	2011/9/22	第　決勝　戦　第　3　日	会場	大村市営陸上競技場	観衆	人
天候	くもり	気温 30 ℃	湿度	風 強風	ピッチ状態 芝　土	表面 良
試合時間 40 分（延長 10 分）						
マッチコミッショナー	平坂　密重	主審	岡田　要	副審1	副審2	
第4審判	納屋　貴樹	記録者	橋本　真人			

チーム名		得点		チーム名
ユニホーム（赤）（白）（赤） 長崎ドリームFCジュニア Kick Off（　）	3	1 前半	0	ユニホーム（白）（ゴールド）（ゴールド） JFCレインボー長崎 Kick Off（○）
		2 後半	0	
		延長前半		
		延長後半		
		PK戦		
			0	

交代 No	交代 OUT時間	交代 Green Card	シュート 延長	シュート 後半	シュート 前半	シュート 計	得点	選手名	位置	番号	番号	位置	選手名	得点	シュート 計	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延長	交代 No	交代 OUT時間	交代 Green Card
								柳本　賢太郎	GK	1	1	GK	増崎　拓己								
					①	1	1	西山　瑞樹	MF	5	2	DF	酒井　亮太								
3	40				1	1		松山　京右	DF	6	6	MF	能村　悠平		4	1 1 1	1				
								平野　蒼大	DF	7	7	DF	山口　堂名		1	1					
					1	1		浦道　翔	FW	8	8	FW	本田　昴慎		1		1				
				① ①		2	2	吉川　稜也	FW	9	9	MF	小谷　隼平		2	2					
				2		2		宮崎　湧	MF	10	10	DF	鮎瀬　英郎								
				1	2	3		中西　渉真	FW	11	16	DF	峯　由信								
								川端　龍之介	DF	2	3	MF	河野　竜平								
								真崎　貴裕	DF	3	4	DF	岩崎　貴斗								
								松本　亘平	DF	4	5	FW	松尾　善仁								
								江島　勇次	DF／GK	12	11	MF	西澤　奏人								
								坂本　慎太郎	FW	13	12	GK	松永　海斗								
								石坂　周斗	FW	14	13	FW	古賀　悠大								
								山田　大地	MF	15	14	MF	濱崎　一馬								
								竹森　海	DF	16	15	MF	久保　飛斗								

警告・退場 時間	番号	氏名	内容	監督名 長岡　敬芳	監督名 松崎　忠義	警告・退場 時間	番号	氏名	内容

	延後	延前	後半	前半	チーム合計		前半	後半	延前	延後
			6	4	10	シュート	7	5	2		
			3	4	7	GK	5	2	3		
				1	1	CK	2	1	1		
			2	3	5	直接FK	3	2	1		
			1	1	2	間接FK					
						（オフサイド）	2	1	1		
						PK					
						Green Card					
						Team Green Card					

時間	チーム名	No	得点者	アシスト	得点経過　記入例；～ドリブル、→ゴロのパス、↑浮球のパス、×混戦、Sシュート、Hヘディング
5	ドリーム	⑤	西山　瑞樹	宮崎　湧	CK↑⑤HS
32	ドリーム	⑨	吉川　稜		⑨～S
40	ドリーム	⑨	吉川　稜	宮崎　湧	⑩～↑⑨HS

PK戦の経過（チーム名）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24

＜備考＞　決勝戦は、全日本少年サッカー大会の決勝戦と同カードというお互いを知りつくした対戦となった。
ドリームFCもレインボー長崎も1－3－3－1のシステムであった。両チームともリスクを避け、GKからのロングボールからのセカンドボールを拾って攻撃を組み立てようとしていた。そのような中、ドリームは、両サイドの中盤が積極的に高い位置を取りながら右サイドを起点に攻撃を組み立てた。前半5分にドリームの⑧がドリブルで仕掛け、CKのチャンスから、⑤が先制点を奪った。レインボーもセカンドボールから、⑥を起点にドリブルでゴール前に仕掛けるが、ドリームの堅い守備を崩すことはできなかった。
後半は、先制されたレインボーは、⑥を起点に右サイドからチャンスを作ろうとするが、ドリームの落ち着いた守備を崩すことができなかった。一方先制したドリームは時間を有効に使いながらも右サイドを起点に細かいパスをつなぎチャンスを作り出した。ドリームは、32分に⑩が一瞬の隙をつくミドルシュートのチャンスから、⑨が追加点を奪い、40分にも①から大きなサイドチェンジから⑩のクロスに⑨がヘディングシュートで3点目を奪った。
優勝したドリームFC、惜しくも敗れたレインボー長崎の両チームの健闘を称え、今後の活躍に期待する。